

第 3437 図

あおい科



第 3438 図

### ふうりんぶっそうげ

*Hibiscus Rosa-sinensis L.*  
var. *schizopetalus Masters*  
(= *H. schizopetalus Hook. fil.*)

熱帯アフリカ原産の常緑灌木、高さ1-2m、多く枝を分ち、葉は互生、狭卵形で尖り、深緑色、不整鋸歯があり、葉柄基部に線状の托葉を具える。夏に枝端に近い葉腋より長梗を垂下して赤色大形の一花を下向して開く。花下の小苞は数片、広3角形、萼は狭鐘形、先端5裂、花弁5個、広鐘形で先端は多数の線状裂片に分れて反曲し、基部は狭い爪部となり全縁、雄蕊は単体、長さ8-10cm許の淡紅色の狭筒をなし、中央より上部に多数の有糸の葯をつける。雌蕊の先端は雄蕊筒部より超出し、先端5裂、赤色を呈するが、筒の内部にある部分は白色である。本邦では温室にて観賞する。和名は風鈴仏桑花の意。

### もんてん

一名もんてんぼく

*Hibiscus glaber Matsumura*

小笠原島の丘陵上に自生する常緑喬木で、稀に盆栽として観賞する。樹高は2-5mに達し、多く分枝して円い樹冠をなす。葉は互生し、有柄で、早落性の托葉を具え、円形又は広卵状円形、浅心脚、鈍頭、無毛、革質で葉縁に浅歯牙があり、3-5個の掌状脈を具え、裏面、基部に近く脈上に線形の分泌腺がある。暖期に枝端の葉腋から梗を出して、径6-7cm許の黄花を開く。萼外の小苞は線形、8-10個あり、萼は5裂し、裂片は3角形をなす。花冠は回旋縷の5弁で、広漏斗状をなし、底部は暗紅褐色を呈する。多雄蕊は単体をなし、1花柱がこれを貫いて先端は5岐平開する。和名モンテンは島人が嘗ってこの樹を Mountain Hau と称したのに由来する。

第 3439 図

あおい科



### あめりかふよう

*Hibiscus ochiroleucus Brit.*

北米原産の多年生草本で、時に庭園に栽培される。数茎を直立或は斜上して生じ、全株稍無毛、長柄を有する葉を互生する。葉は楕円状卵形で下方の葉は屢々3浅裂し、中裂片は卵状披針形、先端は長く尖鋭し、浅心脚、稍不齊の鈍歯牙縁を有する。葉身の長さは7-10cm、葉柄も同長。夏日上方の葉腋から淡紅色、底部濃色の径10cm許の美花を長梗の上に開く。小苞は線形で平開し、更に彎曲して上向し、萼は広鐘形、5裂し、裂片は広3角形。花弁は5個、多脈あり。単体雄蕊の筒は直立して長く、それを抽いて先端の5裂した花柱を現わす。

あおい科



### おかのり

*Malva verticillata L. var. crispa Makino* (= *M. crispa L.*)

稀に農家等で栽培し、葉を食用とする多年生草本。種子を播いてフユアオイからこのものが変生して出ることもあり、その逆にオカノリからフユアオイが変生することもある。茎は春ロゼットから伸びて直立し、高さ60-90cm許、葉は長柄を有して互生し、掌状に7乃至9浅裂し、裂片は略円頭であるが、周辺は著しく彎曲して異観を呈する。晩春から秋に至るまで、葉腋に接して淡紅色の小花を簇生する。萼は5裂、裂片は広3角形、有毛。花弁は5片、先端凹入し、単体雄蕊柱は短かく、花柱はそれより出でて分岐する。心皮は輪状に並び、果実時にも宿存萼の中に包まれている。葉を乾かし、炙り揉んで粉にし、又は茹でて食すると海苔に似ているので、陸上の海苔の意味でオカノリと言う。

第 3440 図

あおい科



第 3441 図

### へらのき

*Tilia kiusiana Makino et Shirasawa*

本州の大和より西部、四国、九州に産する落葉喬木。高さ10数m、枝を良く分岐し、幼枝に毛がある。葉は互生し、歪狭卵形、先端は尾状に鋭尖し、基部は浅い歪心臟形、葉縁に不齊細鋸歯を有し、脈上には葉柄と共に短毛があり、裏面の脈腋に黄褐色の毛がある。初夏、枝端の葉腋から繖房状の聚散花序を出し、総梗は狭舌形の葉状苞を伴い、10数乃至20数花を下向して開く。花は小形、萼片及び花弁は5個、不熟雄蕊は線状長槽円形で、5個、萼片と同長、多雄蕊、1雌蕊がある。核果は小球形、径4-5mm、短毛を密生する。和名のへらノキは花序に伴う葉状苞の形にちなんだものである。

しのぎ科



第 3442 図

### こぼんもち

*Elaeocarpus japonicus Sieb. et Zucc.* (= *E. Kobanmochi Koidz.*)

本州西部、四国、九州、琉球、台湾、中南支に分布する常緑喬木。枝は稍太く、全体無毛であるが幼枝の先端部及び極めて幼時の葉には白色細圧毛がある。葉は長柄をもって互生し、葉柄の上端は紅色を帯び、狭槽円形又は槽円形、先端は急に鋭尖して鈍端、低平な鈍鋸歯を有し、上面は光沢の強い濃緑色、下面は淡色、主脈は稍紅色を帯びる。夏日、長さ数cmの繖状花序を上方の葉腋から斜上して生じ、多数の淡黄色の花をやや偏側して開く。花は径6mm許、萼片は5個、小梗と共に圧毛があり、花弁も亦5個、両面有毛、先端に数個の鈍歯がある。多雄蕊、1雌蕊を有する。核果は長槽円状、球形、径約1cm、初め緑色、後に濃碧色を呈する。

もがし科

